

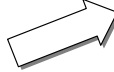
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-11-07
事務事業名	市道等管理事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	昭和6年度～	問合せ先	
大項目	安全で改定期に暮らせるまちづくり	担当課(室)	都市整備課
中項目	生活しやすいまちづくり	職・氏名	管理係長 岸本豊弘
小項目	施策	電話	64-1833

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市道等利用者及び地域住民
目的(何のために)	市道等を整備し価値住民をはじめ市道等利用者の安全を図る。また、地域活性化を図ることを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	市道・市管理河川等の整備、市道認定、市道編入事務、官民境界立会業務、市道・農道水路等の占用許可業務、法定外公共財産の用途廃止事務、道路台帳補正事務 外
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市道を管理し有効に利用する

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	官民境界立会件数	件	80	82	46	
	市道占用件数	件	88	102	107	
	法定外公共財産の用途廃止件数	件	9	11	0	
	事業費					
	直接事業費		5,559	5,758	14,589	
	人件費	千円	11,465	16,308	16,928	
	事業費計		17,024	22,066	31,517	
	財源					
	国県支出金					
受益者負担	千円	8909	10244	10646		
一般財源		8,115	11,822	20,871		
必要人員	人	1.60	2.23	2.29		
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	官民境界立会件数	説明				
	結果指標量	人	80	82	46	
	対前年比	%	-	102.5%	56.1%	
	活動コスト	円	5,100,000	6,500,000	9,450,000	
	単位当たりコスト	円	63,750	79,268	205,435	
	結果指標②	市道占用許可件数	説明			
		結果指標量	人	88	102	107
		対前年比	%	-	115.9%	104.9%
		活動コスト	円	3,400,000	4,500,000	6,300,000
単位当たりコスト		円	38,636	44,118	58,879	

事業の成果			
成果指標名	苦情発生件数	式又は説明	苦情件数/総許可件数
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	0	0	0
対前年比	-	100%	100%
到達目標値	0	到達目標年度	毎年



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
目的	関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	本事業は市道占用許可、官民境界確認立会業務、また、市道補修草刈業務等市民に直結した業務であり必要不可欠なものである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	許可業務一件の処理に時間を要するが、短時間で適正に効率よく業務を行うことに務める。
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	許可業務一件の処理に時間を要するが、短時間で適正に効率よく業務を行うことに務める。
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
コスト	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
手	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職場	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	申請は、随時なものであるため作業量に波があるが適性に処理できている。市道補修等についても即座に対応している。
	<input type="checkbox"/> 職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	結果指標① 申請検す 結果指標量② 許可件数
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量①	結果指標量②
	成果指標量	苦情ゼロ

総合評価		評価区分<A~E>	C
<p>占用等の業務については、苦情も無く処理できている。これからも申請者は手続、施工についての指導を徹底し、許可によって市民生活に支障をきたすことのないよう、適性、迅速に処理していく必要がある。また、市道の整備補修についてもパトロールを強化し市民の安全確保に努める。</p>			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	手続・施工時の指導	毎年	苦情発生件数ゼロ維持する